

廣島文理科
大學教授

文學博士久保良英著

菊判洋綴紙數三百頁
定價金二圓八十錢

送料廿一錢

新刊

兒童の精神構造と指導

本書は心理學上より兒童の精神構造を科學的に解剖し、體係を立てて以て兒童教養の根本義を確立せるものである。兒童の教養は次期の國家の消長を決するものであるが、特に現今我國は非常の時局に立ち何事にも國民總和の力を以て當るべきの秋である。著者はこの大に感ずる所あつて、世の教育家父兄の爲に特に本書を著したのだ。先生は我邦心理學界の泰斗で、本書は其深奥なる學問と豐富なる經驗との完全なる融合である。左に其大綱を擧げれば……一幼兒の精神構造 二玩具の選び方 三言語と文字の交友についての注意 五問題の子供の導き方 六家庭に於ける知育 七美の情操陶冶 八道德教育 九宗教教育……一般教育家は勿論一般識者の必讀を望む。

東京高等師範學校教授
文學博士

小野島右左雄著

心理學要説

菊判紙數四百頁
定價金二圓十五錢
送料十二錢

教育の基礎となる
新しい心理學説

文檢要書

心理學の問題は嘗ての機械説より生氣説、準機械説等幾變遷を経てゐるが、體制に至つて今や其全面に涉り百八十度の大回轉を示してゐる。之は人間科學の諸領域に於て重大なる進歩と新らしい分野の開拓とを意味するものである。斯様な時期に當つて著者は本書に於て單なる紹介や學説の羅列をさけ、専ら見方を教へ考へる論を説き見し、傍諸家の説によれ一方其内省よりして東洋思想の色彩も又濃厚である。教育家特に文檢受驗者に適したものであることを信する尙著者はわれ／＼の精神生活を現代の心理學の成果に基づいて叙説しようとする試みたこと本書の巻頭に述べらるが、此の意味に於て又一般知識人の必讀を俟つものである。

振替電話
東京三三三
八三三
四二五
七二番

店書館文中

發行所
東京市牛込區
牛一町七區